

IV 公園又はこれに類する施設

IV-A 出入口

整備の基本的考え方

- (1) 車いすで出入りできる出入口を少なくとも一箇所設け、車いす使用者の通行可能な園路と直結させる。
- (2) 他の出入口には、その旨がわかる案内板を設ける。

①【勾配】

- ・すりつけ勾配は8%（1/12）以下とする。

②【幅員】

- ・出入口の有効幅員は120cm以上とする。

③【仕上げ】

- ・表面は滑りにくい仕上げとする。

④【車止柵】

- ・車止柵の間隔は90cmで設置し、柵の前後に150cm以上の水平部分を設ける。

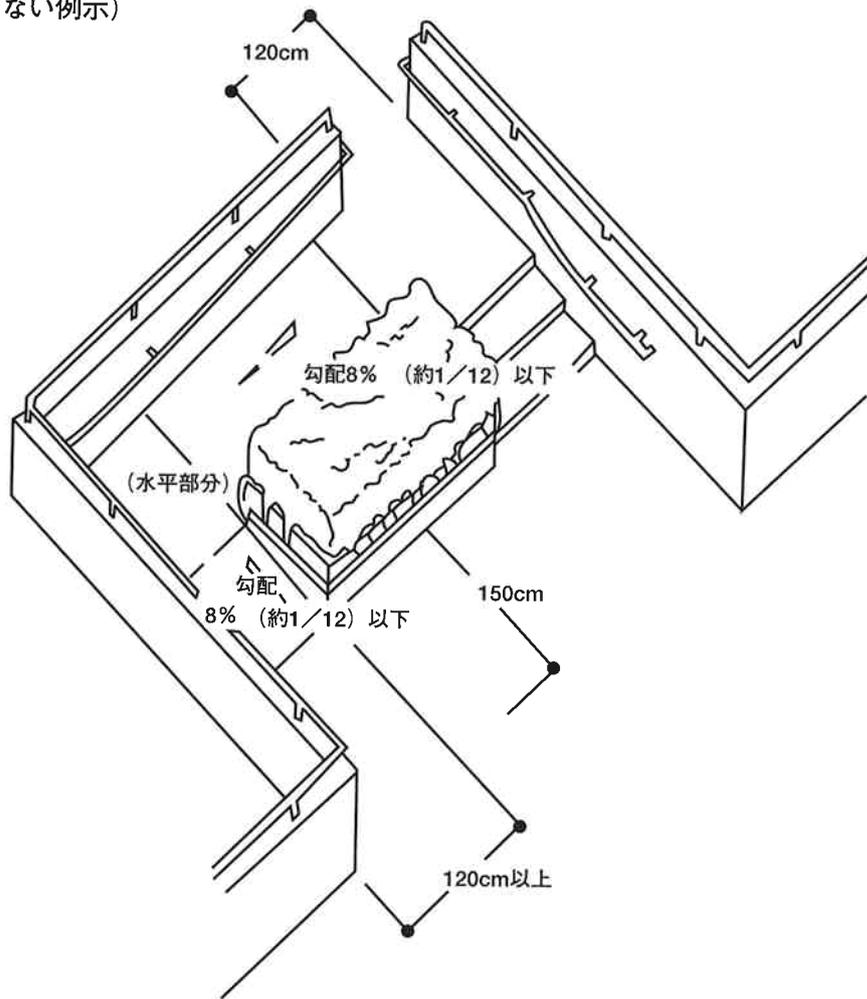
⑤【標示】

- ・自転車・オートバイ等の出入りを禁止する場合はその旨標示する。

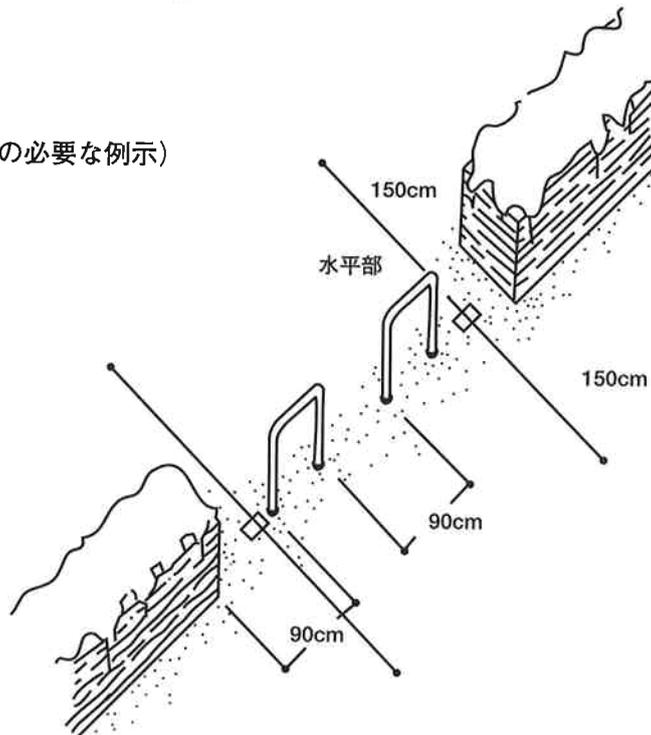
⑥【段差】

- ・出入口には段差は設けない。やむを得ず段差をつける場合は、2cm以下とする。

(車止柵の必要のない例示)



(車止柵が必要な例示)



IV-B 園路

整備の基本的考え方

- (1) 各施設を利用できるようにするため、車いす使用者などハンディキャップを持った人に配慮した通行道線を1経路は確保する。

①【勾配】

- ・縦断勾配は4%（1/25）以内。3～4%（1/30～1/25）の勾配が50m以上続く場合は、途中で150cm以上の水平部分を設ける。
- ・横断勾配は水平勾配程度とし、可能な限り水平にする。

②【幅員】

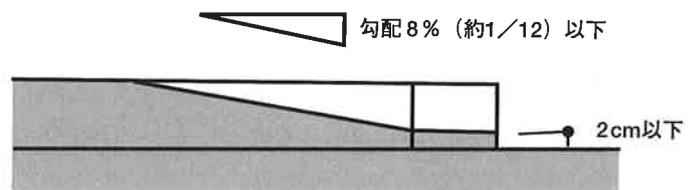
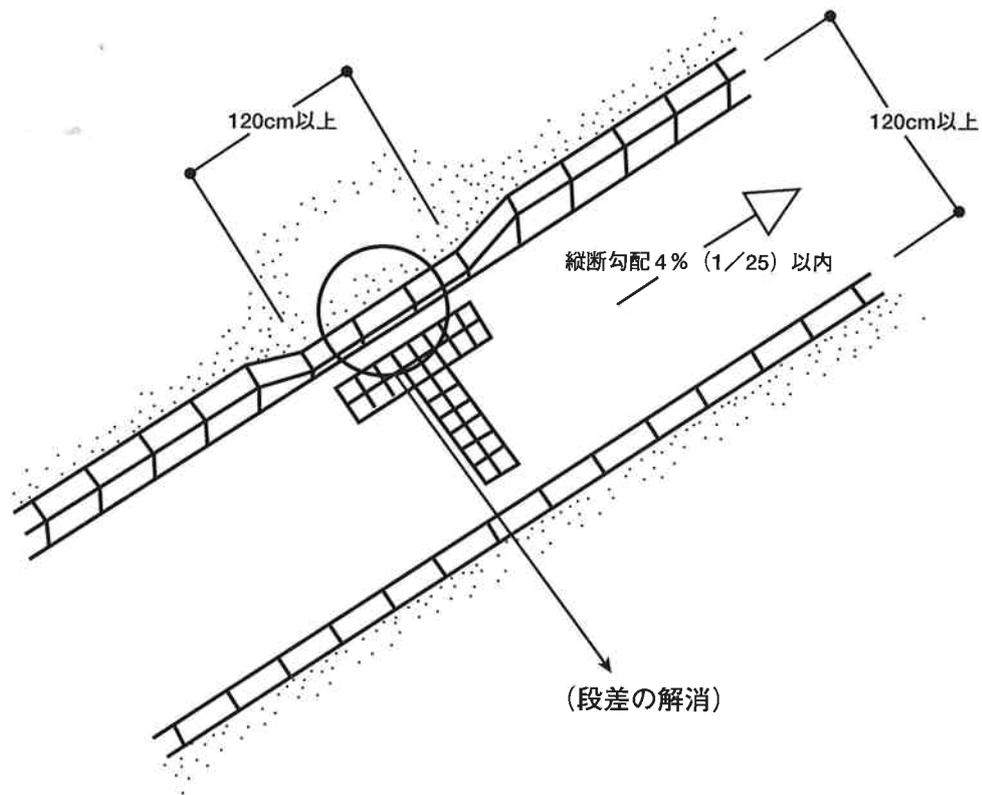
- ・園路の有効幅員は120cm以上とする。

③【仕上げ】

- ・舗装は滑りにくく平坦な仕上げとし、砂利敷は用いない。

④【段差】

- ・縁石・街渠などにより、通行道線と交差する段差は、残存段差2cm以下として切り下げる。
- ・切り下げ部分の有効幅員は120cm以上とする。
- ・すりつけ勾配は8%（約1/12）以下とする。
ただし、高低差が16cm以下の場合は1/8とすることができる。



IV-C スロープ

整備の基本的考え方

①(1) 段差または階段がある場合は、スロープを併設する。

①【勾配】

- ・スロープの最大縦断勾配は5%（1/20）とする。やむを得ない場合でも8%（約1/12）以下とする。

②【水平部分】

- ・傾斜路の終始部に長さ、180cm以上の水平部分を設ける。
- ・高低差が75cmを超えるごとに、同様の水平部分を設ける。

③【立ち上がり】

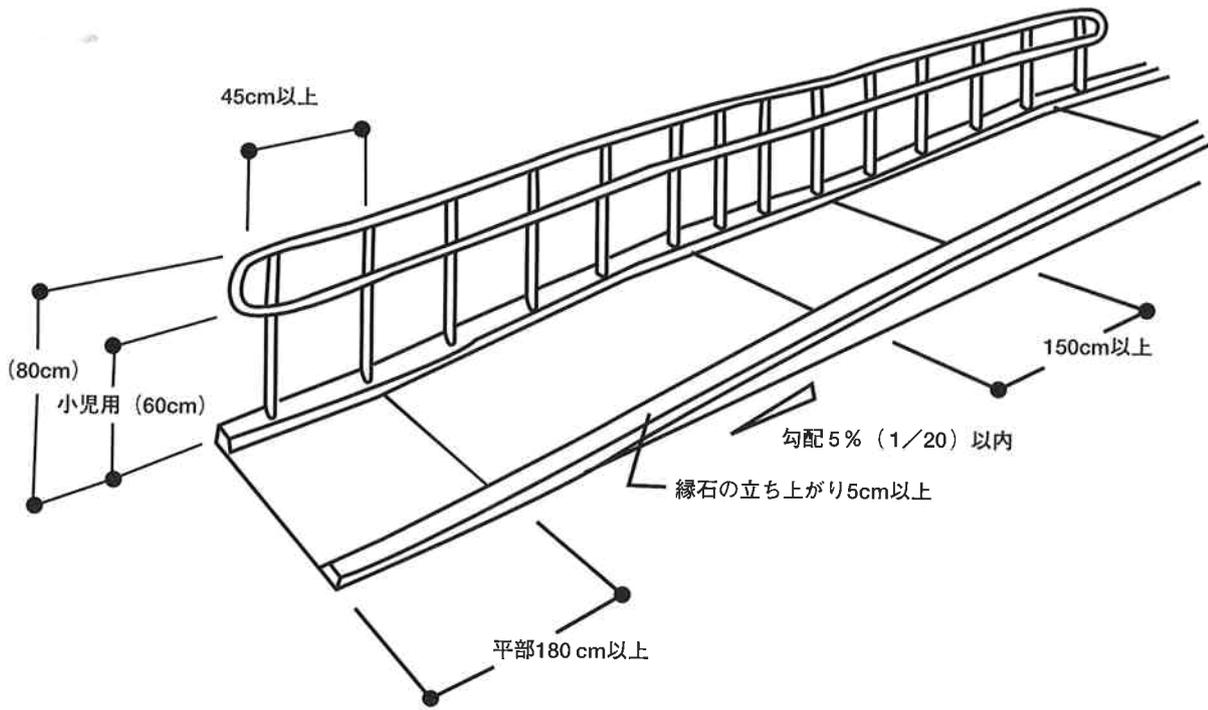
- ・傾斜路の両側には、高さ5cm以上の立ち上がり又は側壁を設置する。

④【手すり】

- ・手すりは両側に連続して設ける。止むを得ない場合は片側に設ける。
- ・手すりの両端は傾斜路の終始点より45cm以上水平に延長する。

⑤【その他】

- ・（公園 IV-B 園路の項参照）



IV-D 階 段

整備の基本的考え方

- (1) 高齢者や歩行困難な人が安全に昇降できるようにする。

①【幅 員】

- ・階段の有効幅員は120cm以上とする。

②【形 状】

- ・蹴上げは15cm以下、路面は30～32cm若しくは60～64cm以上、踏込みは2cm以下とする。
- ・蹴込み板は必ず設け、段鼻は突き出さないようにする。

③【水平部分】

- ・階段の終始点及び高さ150cm以内ごとに、120cm以上の水平部分（踊り場）を設ける。

④【手すり】

- ・階段の両側には連続して手すりを設ける。
- ・幅が300cm以上の階段においては、中央にも手すりを設けることが望ましい。

⑤【仕上げ】

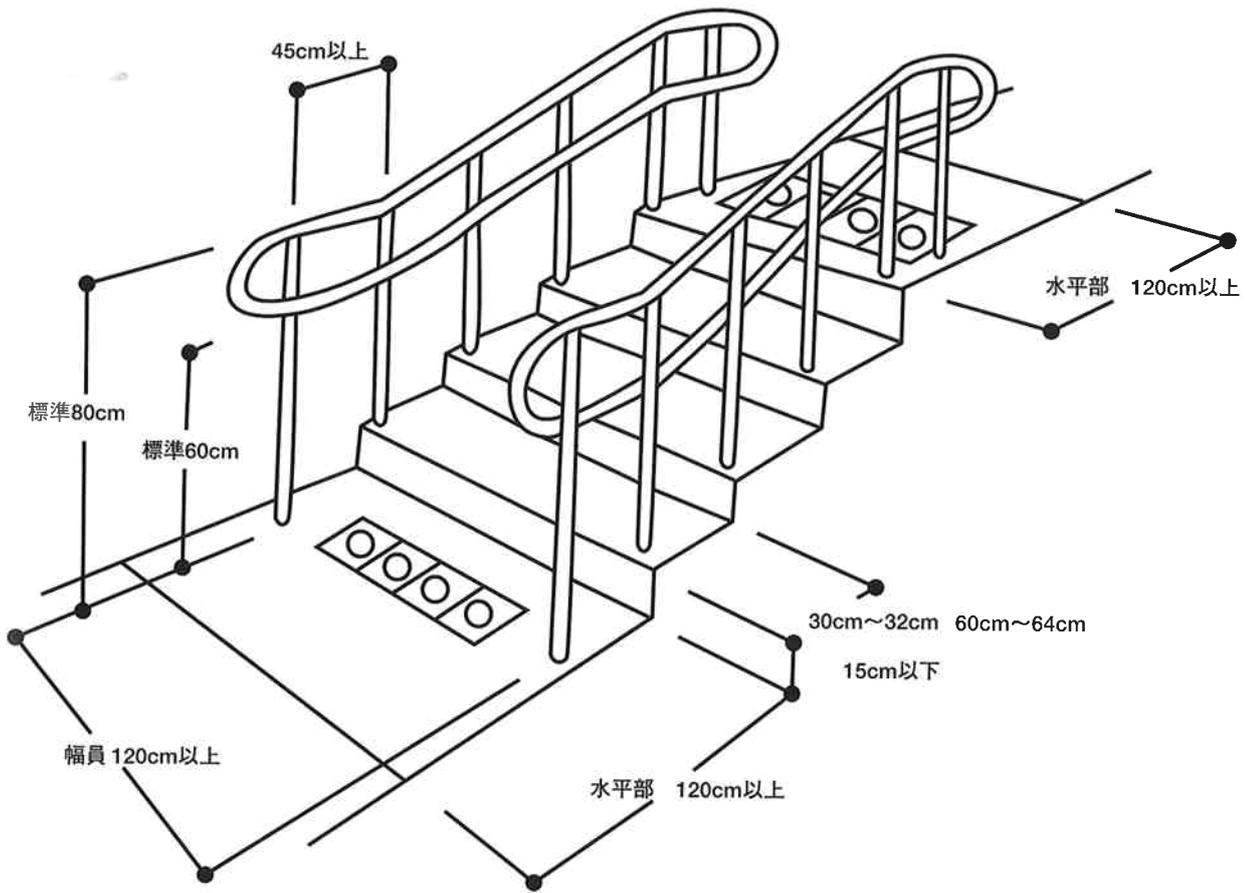
- ・表面は滑りにくい仕上げとする。

⑥【標 示】

- ・階段の位置の標示は、床材の色の変化、標識などにより明確に行う。
- ・階段の昇り口及び降り口の水平部分には、点状ブロックを設置する。

⑦【照 明】

- ・階段付近は20ルクス以上の照明により、足下をできるだけむらなく明るくする。



IV-E トイレ・水飲み器

整備の基本的考え方

☛ (1) 車いす使用者でも容易に利用できるように配慮する。

(1) トイレ

①【形 状】

・トイレは、「公共的建築物等 I - J (トイレ)」に準ずる。

(2) 水飲み器

①【飲み口】

ア 飲み口は上向きとする。

イ 飲み口までの高さは70~80cmとし、車いすで利用しやすいように下部に高さ65cm程度のスペースを確保する。

②【水平部分】

ア 車いすが接近できるよう使用方向に150cm以上、幅90cm以上の水平部分を設ける。

③【水栓金具】

ア 給水栓は、レバー式などの使用しやすいものを使用しやすい位置に取りつける。

イ 給水栓は、自動止水型が望ましい。

(水飲み器の例)

